

基本目標1 区民一人ひとりが参加する地域づくり

重点的な取組1 情報提供の拡充

	取組状況（具体的な取組）	取組状況に対する評価（令和4年度）
4 多摩区地域包括ケアシステムの普及啓発・地域情報の発信（地域ケア推進課）	①広報誌「地ケア TAMA」発行（9月、2月各7,000部） ②区役所アトリウムでの「地域包括ケアシステム」に関するパネル展示の実施（9月、3月） 	【区役所の評価】 ①インタビューを中心にし、活動をイメージしやすい広報誌を作成できた。新たに区役所地域みまもり支援センターに関わる相談窓口一覧の掲載や、啓発グッズをセットにして配架する工夫を行った。 ②多摩区内5地区の取組の紹介の他、「地ケア TAMA」や地域包括支援センター、健康づくりに関するパネル展示を行い、多分野にわたる地ケアの取組について来庁者に広報した。 【連携した団体・区民等の評価／意見】 ①「（広報誌について）地域内のことが分かりやすく掲載されており、町会回覧したいため追加送付して欲しい」（町会・自治会長）
6 快適で暮らしやすい生活環境づくりのための情報発信（衛生課）	①どうぶつ愛護フェア in たま区（8/22～9/2）でペットの写真展（応募数計24件）、どうぶつにまつわる作品展（応募数計38件）、マイクロチップ啓発パネル展示等を実施 ②YouTubeを利用したペット防災啓発動画の配信	【区役所の評価】 ①昨年度同様に市民からペットの写真を募集・展示し、来庁された応募者に加工した写真と景品を贈呈した。新しい試みとして区内小学校や高齢者施設からどうぶつにまつわる作品を募集・展示した。 ②昨年度作成したペットの防災動画を編集し、広く市民が視聴できるよう啓発した。
12 パサージュ・たま（地域ケア推進課）	①毎月2回（8月を除く）多摩区役所1階アトリウムで開催（年22回開催） ②広報誌を7,000部制作し、区内各所に配架・配布 ③参加団体やパサージュ・たま、多摩区SDCでの常設展示・販売の紹介動画を制作 	【区役所の評価】 ①パサージュ・たまの開催により、障害をお持ちの方が意欲と活力をもって参加できる場を提供できた。 ②表紙の絵をパサージュ・たま参加団体の利用者に描いていただき、温かみのある手に取ってもらいやすい広報誌となった。 ③制作した映像について、令和5年度以降、多摩区YouTubeチャンネル等で放映して活動の周知を進めることで目的の達成に大きく近づくと考えられる。 【連携した団体・区民等の評価／意見】 ①「コロナ禍で展示・販売をする機会がない中、毎月開催は有難い」、「利用者の活力にもつながっている」（パサージュ・たま参加団体） ②「作品だけではなく、自分たちの日頃の活動を発信できたことがうれしい」（紹介動画の取材をした参加団体）
特筆すべき取組を含めた総評（令和4年度）	事業の達成度：3 目標をほぼ達成 今後も区民が情報にアクセスしやすい環境づくりを推進する必要がある。また、依然として地域活動の担い手不足という課題もあることから、区民に地域活動により関心を持っていただき、参加する区民のすそ野を広げるため、より多くの区民に情報発信を行っていく。	

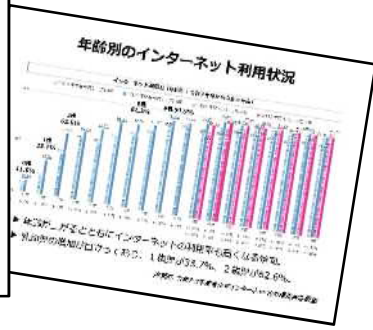
基本目標2 多世代交流でつながる地域づくり

重点的な取組2 地域の支え合い活動の推進

	取組状況（具体的な取組）	取組状況に対する評価（令和4年度）
3 9 地域包括ケアシステムの推進 （地域ケア推進課）	①登戸地区 ・のぼりとミーティング 2 回開催 ②菅地区 ・地ケアつながりプロジェクト～TeamSUGE～ 3 回開催、現地ツアー実施（5 コース 20 箇所） ③中野島地区 ・中野島多世代つながり愛プロジェクト協議会 3 回開催 ※中野島こ文・つながり愛防災フェス共催 ④地域の「居場所」探し！「つながり」探し！をテーマに市民館との共催で地ケアフォーラム×生涯学習交流集会の開催 （紹介団体参加も含め 130 名参加）  ⑤「シニアの方も！初めてのかんたんスマホ講座」の開催（2/20、21 開催 計 49 名参加）	【区役所の評価】 ①②③様々な主体の参加のもと、それぞれの地区のネットワークの維持や目的の明確化に向けた取組を行うことで、参加団体同士の交流を促し、より一層の基盤の安定を図ることができた。 ④開催することにより、地域デビューのきっかけづくりを提供することができた。 ⑤開催することにより、デジタルツール活用による情報格差問題の改善が図られた。 【連携した団体・区民等の評価／意見】 ①登戸地区 「今後も定期的にやってほしい」「小さなコミュニティ内のつながりはとても貴重だと思う。こういう機会は、是非継続していただきたい」（のぼりとミーティング参加者） ②菅地区 「今回のプロジェクトで初めて接点があった方（団体・機関）がたくさんいて、とても有意義でした」（地ケアつながりプロジェクト～TeamSUGE～参加者） ③中野島地区 「こども文化センターと協力した防災イベントについて、協議会として開催していきたい」「プロジェクト周知のため、チラシや団体紹介シートを活用していきたい」（中野島多世代つながり愛プロジェクト協議会参加者） ④「県外から越してきて、地域とのつながりがなかったため、地域の活動を知るよい機会になりました」「今日の講演や他の色々な活動を知り、とても勉強になった」（地ケアフォーラム×生涯学習交流集会参加者） ⑤「スマホは持っているが、使い方がわからず写真を撮るばかりだった。教え方が上手で楽しみながら参加できた」（シニアの方も！初めてのかんたんスマホ講座参加者） 
特筆すべき取組を含めた総評 （令和4年度）	事業の達成度：3 目標をほぼ達成 地域の見守り・支え合い活動の推進として、地域で活動する多様な主体との協議会や交流会等の開催を引き続き実施していく必要がある。また、コロナ禍で停滞していた地域活動の再開支援や、コロナ対策として普及した ICT の利活用が困難な高齢者等に対する支援も推進していく。	

基本目標3 見守り・支え合いのネットワークづくり

重点的な取組3 区民・団体・民間・行政の連携

	取組状況（具体的な取組）	取組状況に対する評価（令和4年度）
4 5 多摩区こども総合支援連携事業（地域ケア推進課）	①こども総合支援連携会議（6/2 開催） 各団体から取組状況の報告、こども未来局企画課から「子ども・若者調査分析及び子ども・若者未来応援プラン」について説明 	【区役所の評価】 ①こども総合支援連携会議を通じて、コロナ禍での事業の実施状況や今後の取組、アイデア等の情報収集、行政から調査結果や計画の説明を行い、子育てに関わる機関・団体と共有した。 ②子ども子育て支援講演会のテーマについては、こども総合支援連携会議の議題とし、テーマを選定した。引き続き、会議等を通じて地域団体の連携を深め、地域全体で子育て支援を推進する。  
	②子ども子育て支援講演会（12/22 開催） こども・子育て支援地域連携事業と合同開催。「スマホ依存！？ ネット・ゲーム・スマホにはまる子どもたち」をテーマにオンライン（Zoom）及び会場のハイブリッド形式で開催。区内保育園、小中学校、社会福祉法人、行政職員など29人が参加。	【連携した団体・区民等の評価／意見】 ①「各団体の現状や行政が行っている事業の詳細が分かってよかった」（会議出席者） ②「1つの機関だけが頑張るのではなく、困っている方を連携して支えていく大切さを改めて考えることができた」（講演会参加者）
5 6 多摩区在宅療養推進協議会（高齢・障害課）	① 区在宅療養推進協議会 医師会、病院・診療所、介護支援専門員連絡会、地域包括支援センター、介護サービス事業所等で構成。計4回出席。 ・在宅医療・介護連携を推進するための情報共有 ・令和5年7月開催予定の市民シンポジウムの企画検討	【区役所の評価】 ①在宅療養推進協議会では、高齢者が自宅や住み慣れた環境で療養できる体制づくりのため、在宅医療・介護に係わる多職種連携の強化を進めることができた。
特筆すべき取組を含めた総評（令和4年度）	事業の達成度：3 目標をほぼ達成 多様化・複雑化する生活課題に対して、専門機関と連携して個別支援を行うとともに、地域住民、地域団体、事業者等の連携により効果的な見守り活動を実施していく必要がある。また、各種会議体で事業の進捗状況や多職種が様々な課題の共有を行い、顔の見える関係づくりに取り組み、引き続き、地域における支え合いのネットワークを強化していく。	